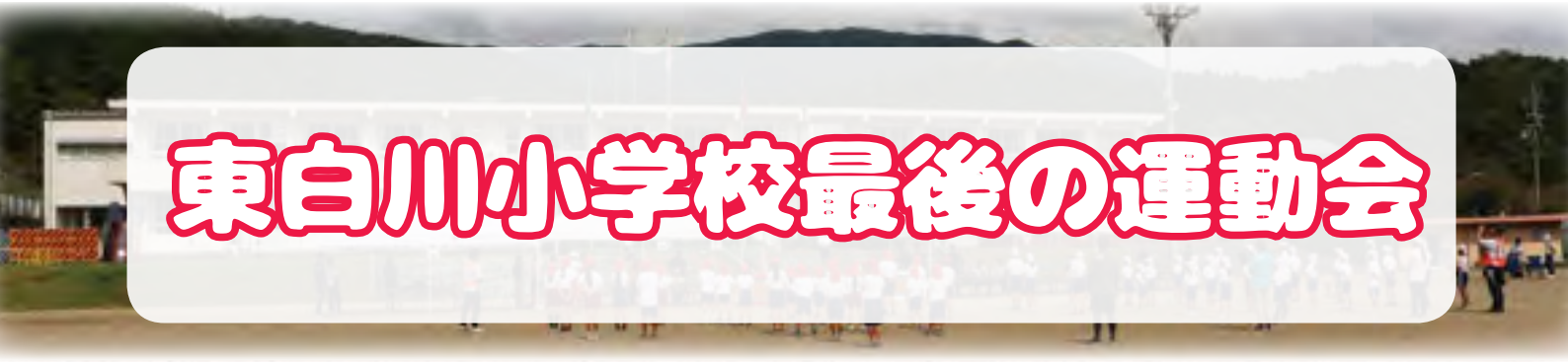
広報 ひがししらかわ
2026（令和８年）
No. 188
11



東白川小学校最後の運動会





令和8年9月27日

昭和55年



第1回運動会の様子

昭和62年



鼓笛隊パレード入場

平成6年



男子児童による騎馬戦

平成10年



裸足で叫べ応援合戦

平成15年



息を合わせて踊ります

平成17年



名古屋女子大学による
マーチングバンド特別公演

令和元年



一糸乱れぬ動きでソーラン節を披露

令和3年



コロナ感染対策のためマスクして

令和5年



全力でゴールテープを目指す

村長室から

【持続可能な東白川村を目指して】

村民の皆様、日頃より村政へのご協力に心より感謝申し上げます。

現在、我が村が直面している最大の難局は、急速に進む人口減少です。人が減ると、水道やCATVなどの公共インフラをはじめ、デイサービスや診療所、老健施設、保育園、学校といった生活に不可欠な施設の維持費用において、一人あたりの固定経費が高くなり、利用者や村の負担は増加の一途をたどることとなります。

それだけではありません。地域の伝統ある祭りの維持や共同作業などのコミュニティが保てなくなり、村内の事業所では雇用を守ることが厳しくなります。さらには、これまで大切に守ってきた美しく豊かな景観の保持までもが困難になっていくのです。

こうした課題を乗り越え、持続可能な地域を形成するために不可欠な手立てこそが子育て支援や移住定住事業です。そして、これまで最大のボトルネックとなっていた空き家供給を劇的に増加させる切り札として、このたび「掘り起こし隊」を結成いたしました。

眠っている空き家を発掘・活用し、新たな仲間を温かく迎えることで、村の活力とコミュニティを守り抜きたいと考えています。持続可能な東白川村の未来に向け、皆様の温かいご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

目　次　contents

02 目次／村長室から／空き家掘り起こし隊　辞令交付
03 健康情報
04 特集　ふるさと納税と森林環境譲与税
06 むらの話題
08 お知らせ information
11 岐阜県からのお知らせ
12 全国学力学習状況調査の結果／駐在所からのお知らせ



トピックス

11月2日に担当地域の空き家に関する情報の収集・報告等の業務を担う「空き家掘り起こし隊」の辞令が9名に交付されました。

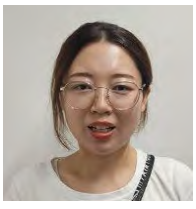
辞令を受けた9名はそれぞれの担当地区にある空き家もしくは空き家候補物件の情報収集を行うとともに、空き家の利活用について住民窓口となり、行政への橋渡しを行います。

辞令交付を受けた隊員　※（）内は担当地区


中島和重さん（大口・平）


安江康助さん（親田）


古田雅彦さん（中通・神付）


丸山麻里愛さん（中谷・加舎尾・西洞）


安江忠さん（曲坂・日向）


今井俊郎さん（陰地）


安江麻実さん（栃山・黒渕・大明神）


今井俊彦さん（柏本・久須見）


野村　啓さん（宮代・大沢・下野）

胃がんについて



東白川村国保診療所長
後藤僚太

胃がんは、日本人に比較的多いがんの一つです。近年は検査や治療の進歩により、早期に発見できれば治る可能性が高い病気になってきました。一方で、初期の胃がんは自覚症状がほとんどないことも多く、「胃が痛くないから大丈夫」「食欲があるから心配ない」とは言い切れません。胃の痛み、胸やけ、食欲低下、体重減少、吐き気、黒い便などの症状が出た時には、すでにある程度進行していることもあります。そのため、症状が出てから受診するのではなく、症状がないうちから定期的に検査を受けることが大切です。





胃がんの大きな原因の一つに「ピロリ菌」があります。ピロリ菌は胃の中に住みつく細菌で、特に幼少期に感染することが多いとされています。ピロリ菌に感染すると、胃の粘膜に慢性的な炎症が起こり、胃がんの発生しやすい土台になると考えられています。ピロリ菌がいるかどうかは、胃カメラの際の検査などで調べることができます。感染が確認された場合には、飲み薬による除菌治療を行うことで、胃がんになるリスクを下げることが期待できます。ただし、除菌後も胃がんが発生する可能性は残ります。そのため、ピロリ菌を除菌した方であっても、定期的な胃カメラ検査を続けることが重要です。



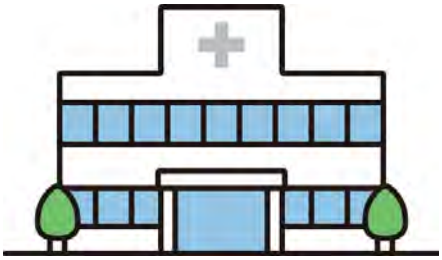
胃がんの予防には、日々の生活習慣も関係しています。喫煙は胃がんを含む多くのがんのリスクを高めるため、禁煙が大切です。また、塩分のとり過ぎも胃の粘膜に負担をかけるとされています。漬物、塩蔵食品、味の濃い料理をよく食べる方は、少しずつ減塩を意識しましょう。

そして何より大切なのが、早期発見です。胃カメラは、胃の中を直接観察できる検査です。バリウム検査では分かりにくい小さな病変を見つけることができ、必要に応じて組織を採取して詳しく調べることもできます。「胃カメラはつらい」という印象をお持ちの方も多いかもしれませんが、鎮静薬を使用して苦痛を軽減することも可能ですので、不安がある方はご相談ください。



ピロリ菌を指摘されたことがある方、ご家族に胃がんの方がいる方、胃の症状が続く方は、特に定期的な胃カメラをおすすめします。

ご自身の健康を守ることは、ご家族の安心にもつながります。症状がない時こそ、検査を受ける良い機会です。ぜひ定期的に検査を受けましょう。





ふるさと納税で応援される私たちのまち

平成20年にふるさと納税制度が創設され、毎年全国から多くの寄附金をいただき、東白川村を応援してもらっています。今回は東白川村のふるさと納税の返礼品や寄附金の使い道について紹介します。

ふるさと納税制度とは

「生まれ故郷や被災地など“応援したい地域”の力になれること」を意義として、全国の地域に活力を生むことを目的に創設された制度で、住んでいる地域以外の地方自治体へ一定の寄附を行うと金額に応じて翌年度の住民税や所得税が確定申告することで軽減されます。

ふるさと納税はお得？注意することは？

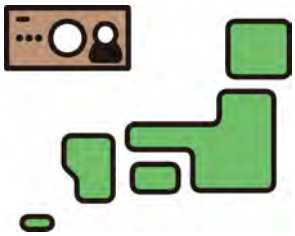


ふるさと納税は、寄附した自治体から返礼品を受け取れるほか、翌年の住民税や所得税が軽減される制度です。返礼品には地域の特産品やサービスなどがあり、寄附額の約30%程度の価値があるため、「お得」と感じる方も多くいます。

ただし、控除額には所得に応じた上限があります。また、税控除を受けるには確定申告やワンストップ特例制度の手続きが必要です。さらに、住んでいる自治体の住民税が減るため、地元の公共サービスや事業に影響が出る場合があります。**メリットとデメリットを理解したうえで、賢く活用しましょう。**

東白川村のふるさと納税（令和7年度実績または令和8年10月1日時点）

ふるさと納税寄附金額



約2億 2,271 万円

全国の皆さんから、
温かいご支援が寄せられています。

返礼品登録数



361 品

東白川村の特色を生かした
返礼品を幅広く取り揃えています。

パートナー事業者数



25 事業者

村内の事業者が、
返礼品づくりを支えています。

東白川村の魅力が詰まった返礼品（一部抜粋）

食品

- 紫もち麦
- よせ豆腐
- プリン
- 美濃白川茶
- 味付けあげ
- とまとのまんま
- 朴葉寿司
- 小麦粉
- シフォンケーキ
- 五平もち

etc...

商品

- ヒノキの薪
- 紙芝居舞台
- 神棚
- 神棚用の国産榊
- ひのきのベンチ
- アローエコマット

etc...

その他

- お墓の掃除サービス
- 楽天トラベルクーポン

全国の応援は様々な事業に活用されます

頂いた寄附金は、翌年度の予算として東白川村のさまざまな事業に活用しています。（ 活用事業　抜粋 ）

産業活力



【活用事業】
官民協働の地域づくり支援
つながるナビ事業
茶業振興対策事業

生活環境



【活用事業】
一般廃棄物対策事業
公共交通事業
道路橋梁維持事業

保健福祉



【活用事業】
福祉医療費
障がい者福祉一般
交流サロン運営事業

教育文化



【活用事業】
みつば保育園運営費
義務教育学校整備事業
子育て支援総合推進事業

企業版ふるさと納税　開始

本村では個人で行う「ふるさと納税」とは別に、企業が行う「企業版ふるさと納税」の運用を9月よりスタートしました。

企業版ふるさと納税とは

企業が地方自治体の地域活性化に資する事業へ寄附を行うことで、税額控除を受けられる制度です。返礼品はありませんが、寄附した金額のうち最大約９割が税負担の軽減につながるため、企業にとってもメリットが大きい仕組みです。東白川村では「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」に寄附することが出来ます。

企業版ふるさと納税企業インタビュー

9月9日に各務原市にある株式会社四葉クラフトが東白川村へ寄附を行いました。寄附を行った会社を訪問し、代表取締役の長谷川重裕さんに話を伺いました。

Q. 寄附に至った経緯について
A. 出身が七宗町で、東白川村と同じく人口減少や担い手不足などの課題を抱えています。同じ問題を抱える地域であり、桂川村長とも同級生という縁があったので、助けになればと思い、寄附させていただきました。

Q. 寄附金の活用方法について
A. 桂川村長に一任させていただく形にしましたが、思いとしては村の人や仕事、村づくりなどの創生事業に使っていただき、いい村を作って欲しいと思っています。


長谷川重裕代表取締役と桂川村長

森を守り、未来へつなぐ 森林環境譲与税

森林は私たちの生活に欠かせない「水」「空気」「土壌」を育む大切な資源です。しかし、近年では手入れが行き届かない森林が増え、災害リスクや環境問題が懸念されています。そこで、国が創設したのが「森林環境譲与税」です。



森林環境譲与税とは

令和元年度に創設された制度で、森林の整備や保全を進めるため、国が市町村や都道府県に税を配分する仕組みです。森林所有者が適切に管理できる環境を整えることで、地域の安全性を高め、地球温暖化防止にも貢献します。この譲与税の財源となっているのは令和6年度から徴収されている「森林環境税」のため、住民一人ひとりが負担した税金が環境を守る活動につながっています。

東白川村では様々な林業関係事業に活用しています（事例紹介）

森林環境譲与税は、林業に関わる様々な事業に活用されています。毎年の活用実績は東白川村のホームページで公開しています。
（URL：https://www.vill.higashishirakawa.gifu.jp/kurashi/sangyou/ringyou/shinrinKJ/）

森林整備の準備作業
- 森林所有者意向調査
- 林地台帳の整備
- 森林整備事業の実施

私有林・公有林整備
- 道沿い支障木の撤去
- 林道／作業道整備
- 木材搬出用の路面修繕

担い手育成
- 人材育成に関する支援
- 新規狩猟免許取得者への支援

木質バイオマス利用促進
- ストーブ用薪づくり支援

木材・普及啓発
- 企業参加型森林整備
- 木育製品の購入
- 水源地の山林購入
- 危険木の伐倒事業

笑顔あふれる親子運動会

10月3日（土）



年長児による鼓隊パレード

みつば保育園で親子運動会が開催され、多くの保護者が子どもたちの勇姿を見守りました。運動会では、園児による個人競技や、力を合わせて挑む親子競技が行われ、観覧席からは声援や笑顔が絶えませんでした。毎年恒例の年長児による鼓隊パレードでは、息の合った演技が披露され、会場を大いに盛り上げました。晴天に恵まれた園庭には元気な声が響き渡り、笑顔あふれる楽しい運動会となりました。

明治安田による寄附

10月7日（水）

明治安田生命保険相互会社が実施する「地元の元気プロジェクト」により集められた寄附金 501,500 円を贈呈するため、担当者が役場を訪れました。これは明治安田グループの従業員の出身地や過去の勤務先など、縁のある地域に対して募金を行うもので、寄附金は子育て支援や健康増進活動に活用されています。同社では他にも村の健康まつりに参加し、推定野菜摂取量の測定など健康意識を高める取り組みを行っています。



大井手美濃加茂営業所長（左）と東白川エリア担当の飯田さん（右）

プロの管弦楽団の演奏に触れる

10月8日（木）



オーケストラの指揮者体験の様子

大阪のザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団が、小・中学生を対象にオーケストラ演奏を披露しました。この公演は文化庁の学校巡回公演事業の一環で、子どもたちの豊かな感性を育むことを目的に行われています。当日は演奏に加え、普段目にする機会の少ない楽器の紹介や指揮者体験、生演奏に合わせた合唱体験も行われました。子どもたちは、オーケストラの迫力ある演奏を間近で感じ、プロの音楽に触れる貴重な機会となりました。

子ども会卓球大会

10月17日（土）

小学校体育館で子ども会卓球大会が開催され、各地区の4年生から6年生までの児童が参加しました。大会は各地区 2 チーム、計 6 チームによるリーグ戦で行われました。児童たちは7月の卓球教室で、ルールや球の打ち方などの基礎を学んだ後、地区ごとに練習を重ねてきました。当日はどの試合も接戦となり、4勝1敗の成績を収めた越原 A チームが優勝しました。優勝した児童は、優勝メダルを首にかけ、「優勝できて良かった」と笑顔で話していました。



真剣勝負をする参加者

第19回濃飛横断道・三市一村議会委員会合同会議

10月19日（月）



各地域の議員らによる協議

はなのき会館で、郡上市・下呂市・中津川市・東白川村の首長や議会議員、県議会議員など約60名が参加し、合同会議が行われました。この会議は、郡上市と中津川市を結ぶ全長80キロの濃飛横断自動車道の整備促進を目的として、県や国への要望事項を協議するものです。会議では、中津川市にリニア中央新幹線の駅が開設されることで、濃飛横断自動車道の必要性がさらに高まることや、経済効果を具体的に算出した上で、国への要望を行う必要性が議論されました。

良質な水は整備された山から生まれることを知る

10月20日（火）

中学1年生が、緑化少年団活動の一環として、サントリーホールディングス㈱による「水を育む森づくり」の授業を受けました。授業では、水源地である東白川村の山を整備する大切さや、水と山の関係について学びました。また、良い水を育むための山づくりや、山が生き物や水・災害に与える影響について説明を受けたほか、土の吸水力の違いを模型で学び、生徒たちは驚いた様子を見せていました。



ミニチュア模型による実験の様子

世界に一つだけの手作り湯のみを

10月22日（木）



真剣なまなざしで絵付けに挑戦

小学3年生が陶芸を体験しました。今回は2回目で、前回成形した湯のみやカップに色付けを行いました。児童たちは、全体を塗ったり模様に色を付けたりと、それぞれ工夫しながら取り組みました。模様の色付けに苦戦する姿も見られましたが、全員が楽しみながら作業を進め、「色付けが思ったより難しかった」「この湯のみでお茶を飲むのが楽しみ」と話していました。作品は11月のお茶の入れ方教室で使われます。

歯の大切さを学ぶ

10月26日（月）

小学校で、白川病院の歯科衛生士による歯科指導が行われました。児童たちは学年ごとに歯肉炎や歯垢などについて学び、1年生は生え変わりのない永久歯「6歳臼歯」を虫歯から守る大切さを教わりました。授業の最後には染色液で磨き残しを確認しました。赤く染まる部分が少なく、自分の歯がきれいに磨けていることを知ると、児童たちから喜びの声が上がっていました。今後も子どもたちの健康な歯を守る取り組みを続けていきます。



正しい歯みがきを実践する児童

こども医療電話相談事業（＃ 8000）に紐づく番号の変更について

こども医療電話相談（＃ 8000）で「ダイヤル回線、IP 電話などつながらないとき」にかける電話番号が 11 月2日の18時から変わりました。お間違えの無いようにお願いします。

旧電話番号　　新電話番号

058-240-4199 ➡ 058-216-0999

岐阜県健康福祉部医療整備課 ☎ 058-272-1111（内線 3238）

第78回　人権週間

昭和23年（1948年）第3回国際連合総会で世界人権宣言が採択され、本年で採択78周年を迎えます。

国際連合は、世界人権宣言の採択を記念して、採択日の12月10日を「人権デー」と定め、加盟国に対し、人権擁護活動を推進するための各種行事を実施するよう要請しています。

法務省と全国人権擁護委員連合会は、「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、人権尊重思想の普及高揚に努め、本年も12月4日から12月10日までの1週間を「第78回人権週間」として、全国各地で啓発活動を実施します。

“「誰か」のこと　じゃない。”

皆さんもこの人権週間を機に、身近なことから人権を考えてみませんか。

岐阜地方法務局美濃加茂支局　☎ 0574-25-2400

2等陸・海・空士（任期制自衛官）とは

入隊と同時に2等陸・海・空士に任命され、教育隊での教育を経て各部隊に配属される新しい制度（令和8年3月応募受付開始）です。

自衛官募集サイト

自衛隊美濃加茂地域事務所（可茂総合庁舎 4F）☎ 0574-25-7495

「ぎふエコアクション」で県産品プレゼントキャンペーンを実施しています。

岐阜県では、日々の生活の中で実践できる20項目の省エネ行動をチェックすることで、CO_2 排出削減量を見える化するサイト「ぎふエコアクション」を令和6年から開設しています。

このたび、県民の方の省エネ行動を更に促進するため、CO_2 排出削減量に応じて貯めたエコポイントが100ポイント以上の方を対象に、抽選で県産品をプレゼントするキャンペーンを実施しています。

ご家庭で一日の省エネ行動を振り返りながら、ぜひキャンペーンにご応募ください。

詳しくは「ぎふエコアクション」サイトまたはキャンペーンチラシをご覧ください。



令和8年度「岐阜県再犯防止推進セミナー」開催

県では、地域における再犯防止に関する理解を深めるセミナーを開催します。参加される方は、右の二次元コードからお申し込みください。（締切：12月1日）

【日時】12月8日（火）14: 00～16: 00

【場所】オンラインにより開催（MicrosoftTeams で開催）

岐阜県地域福祉課 ☎ 058-272-8435

わくわく体験館からのお知らせ

【ガラス工芸の体験をしてみませんか】

【体験内容】

①吹きガラス体験　※作品は後日のお渡しとなります

内　容：パイプにとけたガラスを巻き取り、息を吹き込んで成形します。

コップ1個作る60分コース	コップ2個以上作る90分コース	ペーパーウエイト作る60分
対　象：小学5年生以上	対　象：小学5年生以上	対　象：小学3年生以上
参加費：2,500 円	参加費：5,500 円	参加費：2,000 円


ガラスへの絵付け

②トンボ玉体験

内　容：バーナーの炎で色ガラスの棒を溶かし、トンボ玉をつくります。
チョーカーやキーホルダーなどを付けて完成です。

1個作る60分コース	花模様のトンボ玉を作る120分コース
対　象：小学3年生以上	対　象：小学5年生以上
参加費：1,800 円	参加費：3,000 円


トンボ玉


トンボ玉体験

③ステンドグラス体験

内　容：色ガラスを組み合わせハンダ付けをし、鏡や小箱、おやすみランプを作ります。

対　象：小学5年生以上

参加費：3,600 円

④その他

サンドブラスト（1,500 円 4 歳以上）、フュージング（2,500 円小学 1 年生以上）、ヴェネチアンアクセサリー（1,500 円小学 1 年生以上）などがあります。


ステンドグラス体験

わくわく体験館 ☎ 0574-65-1515

村民福祉課からのお知らせ　☎ 0574-78-3111

▶ 健康づくり・各種相談

・心の相談会／ 精神保健福祉士による相談会です。心の内を話してみませんか。一人30～40分。
【日時】12月7日（月）/ 午前9時30分 ～11時00分（予約制）【会場】保健福祉センター
1月22日（金）/ 午後1時30分～3時30分　※1月は保健所の医師が担当します。

・健康相談／ 栄養士・保健師が相談に応じます。栄養の相談、高血圧・糖尿病の重症化予防にご活用ください。
【日時】12月15日（火）、1月14日（木）午後1時30分～4時00分（予約制）村民福祉課保健師が応じます。
【会場】保健福祉センター　※指定日以外についてはお問い合わせください。



・ヘルシー講座（運動編）／ 健康運動指導士による運動指導です。皆さんで一緒に体を動かしませんか。
【日時】1月27日（水）/ 午後2時00分～3時30分（受付：1時30分～）【会場】保健福祉センター

▶ 子育て中の方へ

・赤ちゃん相談／身体計測や栄養相談、育児のお悩みなどお気軽にご相談ください。
【日時】11月17日（火）、12月17日（木）/ 午前9時30分～11時30分（予約制）【会場】保健福祉センター
右の二次元コードから予約ができます。※指定日以外についてはお問い合わせください。

赤ちゃん相談

・子育て相談「ふらっと」／ 妊娠・出産・子育て期の様々な不安や困りごとを一緒に考えましょう。
午後は電話での対応になります。
【日時】11月26日（木）、12月10日（木）/ 午前9時30分～11時15分、午後1時～3時　【会場】 子育て支援室

・赤ちゃんひろば／ 1歳半までのお子さんを対象にベビーマッサージなどを行います。
【日時】12月7日（月）、1月18日（月）　【会場】 子育て支援室（時間は予約制）
※申込みは 78 － 2286（子育て支援室）まで。時間は毎月発行しているお便り「おおさくなあれ」でご確認ください。



休日診療情報

● 東白川村国保診療所　毎月第2土曜日（受付時間　8：45 ～ 11：30）☎ 0574-78-2023

● 休日急患診療所　（受付時間　9：00 ～ 16：30）

月	日	曜日	医療機関	電話番号
11	22	㊐	太田メディカルクリニック	26 - 2220
11	23	㊊	林クリニック	28 - 8899
11	29	㊐	中部国際医療センター（選定医療費がかかります）	66 - 1100
12	6	㊐	土屋クリニック	28 - 5955
12	13	㊐	安田内科クリニック	27 - 5088

● 休日急患歯科診療所（受付時間　9：00 ～ 13：00）

月	日	曜日	医療機関	電話番号
11	22	㊐	まるも歯科	25 - 8148
11	23	㊊	中島歯科医院	26 - 0390
11	29	㊐	福井歯科医院	48 - 1029
12	6	㊐	高木歯科医院	25 - 2464
12	13	㊐	田口歯科医院	27 - 5161

※ 診療受付終了時刻は早まる場合があります。時間内に受付できなかった場合は、救急外来をご利用ください。
※ 村内から又は携帯電話で連絡する際は、市外局番の「0574」をつけてください。
※ 都合により変更される場合がありますので確認してからお出掛けください。
※「みのかも健康ほっとダイヤル」（24時間365日対応）体の健康や子育て等、気軽にご相談ください。
医師・看護師・保健師等が対応します。　☎ 0120-238-007　　加茂医師会　☎ 0574-26-6412

お悔やみ申し上げます

五斗	貢	さん	（曲坂）	65 歳
桂川	美里	さん	（陰地）	76 歳
島倉	清子	さん	（平）	94 歳
安江	ゆき	さん	（宮代）	93 歳
池野	一枝	さん	（神付）	92 歳
池野	正	さん	（神付）	66 歳
熊澤	梅子	さん	（日向）	86 歳
大坪	克明	さん	（平）	92 歳
鈴木	泰宏	さん	（陰地）	97 歳

お誕生おめでとうございます

大西　にこ さん（柏本／和輝さん・ひろさん）
大西　きこ さん（柏本／和輝さん・ひろさん）

ご寄付

東白川村

ふるさと思いやり基金	539 件	10,213,300 円
安江　将宏　様		50,000 円

社会福祉協議会

安江　将宏	様	（黒渕）	50,000 円
田口　正基	様	（日向）	50,000 円
桂川　信道	様	（陰地）	100,000 円
髙井　恵里子	様	（黒渕）	古切手
木村　美由起	様	（神付）	衣類・タオル・介護用品等

● 村の人口の動き　（10月末の住民登録人口）

区分	人口・世帯	前月比	前年比	異動	人数
男	896 人	－ 1	－39	転入	2 人
女	1,007 人	－ 3	－41	転出	0 人
合計	1,903 人	－ 4	－80	出生	2 人
世帯数	794 世帯	－ 3	－ 11	死亡	8 人

● 12 月ごみ収集情報

可燃ごみの収集は毎週火曜日・金曜日です。

不燃ごみ区分	収集日
ガラス類・資源ビン	－
金物類・資源缶	－
粗大ごみ	－
ペットボトル（キャップ・ラベルなし）発泡トレイ、プラスチック資源	－

● 東白川村森林組合 共販会

第988回（10月20日）

ひのき	13 ㎝ 以下	平均単価	9,900 円
	14 ㎝ 以上	平均単価	23,500 円
		高 値	201,000 円
すぎ		平均単価	12,200 円
		高 値	28,000 円
赤まつ		平均単価	5,600 円
		高 値	10,000 円
総取扱量			576 ㎥
総販売高			10,897,000 円

あけぼの俳句の会

木犀（もくせい）の香り散りしく路（みち）に立つ　安江　力男
秋の道　色とりどりや　狂（くる）い咲（ざ）き　安倍　富子
さつまいも小競（こぜ）り合いして道の駅　小林　道子
秋番茶　色なき風に　鱗雲（うろこぐも）　野村　啓
残照（ざんしょう）にふわりと揺れる芒（すすき）哉　栄香

岐阜県からのお知らせ

点字版・音声版をご希望の方は、県秘書広報課へご連絡ください。音声版には、CD（デイジー編集）での提供と音声用のテキストデータの配信もあります

PICKUP

支える人も、支えたい。一人で抱え込まない社会へ

■問／県地域福祉課　☎058(272)8435

ケアラーとは、家族などのケアを日常的に担う人のことです。「家族のケアは家族・女性がするのが当たり前」という考え方のために、悩みをひとりで抱え込み、孤立してしまうことがあります。岐阜県では、ケアラーが自分らしく生き、家族も自分自身も大切にして暮らせる社会を目指しています。ケアは社会全体で支えるべき課題です。支える人にも支えられる人にも、自分らしく生きる権利があります。

もしかして、ケアラーかも？

相談窓口はコチラから

さまざまな理由により、援助を必要とする身近な人に対し、無償で介護・看護・日常生活上の世話を行う人のことをいいます。



仕事と介護の両立や、子育てと介護が重なるダブルケア、高齢者同士の介護など、ケアのあり方はさまざまです。誰もが当事者になる可能性があり、決して他人事ではありません。

誰かを支えるあなたにも、支えが必要です

ご自身の健康や人生も大切です。家族のケアを一人で抱え込まず、遠慮なく相談窓口へお話しください。適切な支援を受けることで、支える人も支えられる人も、より安心して日々を過ごせます。

サービスを利用して、身体的な負担が減り、楽になった！

ケアを安心して任せることができ、自分の時間ができた！

悩みや不安を共有して、心が軽くなった！



支援内容の一例

- 福祉サービスや介護保険サービスを活用する
- レスパイトサービス（一時預かり）を利用する
- ケアラー同士で悩みを話したり、情報交換をする

事業主の皆さんへ

これからは仕事と介護の両立支援が不可欠です。環境を整えることが大切な人材を守り、離職防止につながります。ケアを抱える従業員を職場全体で支えましょう。

企業向けケアラー支援オンラインセミナー

2026年11月19日(木)14:00～15:30

仕事と介護の両立を支える職場づくりが学べます！

◆参加費：無料
◆定員：100名（先着順）

申し込みはこちら▶

TOPICS

01 ぎふエコアクション県産品プレゼントキャンペーン実施中！

毎日の生活の中で取り組める省エネ行動と、CO_2削減量を見える化するサイト「ぎふエコアクション」では、現在、CO_2削減量に応じて貯めたエコポイントで応募できる県産品プレゼントキャンペーンを実施しています。この機会に「ぎふエコアクション」に登録し、楽しく得する省エネ行動に参加しましょう。

ぎふエコアクション GIFU ECO ACTION

登録はコチラから

- キャンペーン期間／10月1日(木)～令和9年2月12日(金)
- 登録方法／右記二次元コードから
- 問／県省エネ・再エネ社会推進課／☎058(272)8835

02 「共家事・共育」知っていますか？



県では、性別に関係なく、家事や育児を家族で協力して担う「共家事（ともかじ）・共育（ともいく）」を推進しています。その一環として、各家庭における家事・育児の役割分担を見える化し、より望ましい家事・育児の分担について話し合うきっかけづくりのため、「共家事・共育チェックシート」を提供しています。各家庭にあったチェックシートを選んでご利用ください。

詳細はコチラから

- 問／県男女共同参画推進課 ☎058(272)8237

Q 共家事・共育

03 「ぎふっこ応援キャンペーン」開催





県では、こども・子育てにやさしい社会の実現に向けて取組を推進しています。このたび、「秋のこどもまんなか月間」に合わせて、ぎふっこカードの特別企画「ぎふっこ応援キャンペーン」を開催します。参加店舗を利用し、「ぎふっこカード」又は「ぎふっこカードプラス」を提示すると、期間中だけの特別な特典やサービスを受けられます。また、デジタルスタンプラリーも併せて開催します。

詳細はコチラから

- 開催期間／11月1日(日)～11月30日(月)
- 場所／県内全域
- 問／県子育て支援課／☎058(272)8077

04 【広報紙を読んで応募！】秋の広報紙プレゼントキャンペーン



合言葉を入力し、アンケートに回答のうえ応募いただいた方の中から、抽選で10名様にプレゼントをお届けします。今回は、乾燥する季節に喉を潤す飲み物を用意しました。応募は、公式LINEアカウント「岐阜県」を友だち登録のうえ、メニュー内「広報紙を読んでプレゼントに応募」からご応募ください。合言葉は『岐阜の飲み物』です！

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。（飲み物はアルコール飲料ではありません。）

友だち登録はコチラから

- 応募締め切り／11月30日(月)まで
- 問／県秘書広報課／☎058(272)1114

この情報は令和8年9月29日現在のものです。紙面に載せきれない、最新のイベントや募集・案内などは岐阜県公式ホームページ［イベントカレンダー］に多数掲載しています。
県秘書広報課☎058(272)1111(代)

イベントカレンダー▶

令和8年度 全国学力学習状況調査の結果（概要）のお知らせ

令和8年4月23日、文部科学省は、児童・生徒への教育指導の充実等を目的として全国一斉に「全国学力・学習状況調査」を実施しました。小学6年生は国語と算数、中学3年生は国語と数学、英語について、調査しました。また、英語はオンライン形式で実施されました。さらに、学習意欲や日頃の生活状況等に関する質問調査についても、オンライン形式で実施されました。その結果についてお知らせします。

村の小・中学校の調査結果と考察（概要）

◇小学校では、「国語」は、全国の平均正答率をやや上回る結果でした。「算数」も、全国の平均正答率をやや上回る結果でした。
◇中学校では、「国語」「数学」「英語」の3教科とも、全国の平均正答率とほぼ同じ水準でした。
◇小・中学校共通（学力調査）
・昨年同様に無回答というケースが少なく、前向きに問題に向かい合っている様子がうかがえます。
・各教科の正答数のばらつきを表す数値（標準偏差）が小さく、個人差が見られませんでした。この結果は、少人数のメリットを生かし、一人ひとりの学習状況をきめ細かく把握していると考えられます。
◇質問調査
・「自分には、よいところがあると思う」の質問に、肯定的な回答の割合が9割を超えています。自己肯定感が高く、学校や家庭・地域で認められる機会が多いことがうかがえます。また、「学校に行くのは楽しいですか」の質問に対し、肯定的な回答をした割合も9割を超えており、多くの児童・生徒が充実した学校生活を送っていることが伺えます。今後も、安心して学校生活を送ることができる環境づくりを進めるとともに、魅力ある学校づくりを推進していくことが必要であると考えられます。
・「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」に対し、「当てはまる」と答えた割合が9割を超え、全国平均を大きく上回っています。ふるさとを愛し、地域に貢献していきたいと願う傾向にあることが分析できます。
・ICT 機器の活用に関する質問では、授業における ICT 機器の利用が増えており、文房具と同じように使いこなすことができています。また、「発表スライド等を作成できる」の質問に対し、8割以上が肯定的な回答をしており、整備されたタブレット端末を主体的に活用しながら、必要な技能が身についています。

上記の結果や考察を踏まえ、子どもたちが健やかに成長できる村づくりをさらに推進していきます。また、令和9年度に開校する東白川学園においても、一人ひとりの学びの連続性を大切にしながら、9年間を見通した指導と支援の充実を図っていきます。

※小中学校の児童生徒や保護者の皆さまには学校ごとの分析や、今後の取り組みに関する文書が配布されます。

駐在所からのお知らせ

東白川駐在所 ☎ 78-2004

狩猟期間の事故防止

狩猟期間 令和8年11月15日～令和9年2月15日

岐阜県では、イノシシ及びニホンジカの狩猟に限り、狩猟期間が延長！
【11 月 1 日～ 11 月 14 日】・・・わな猟のみ可能（とめさしのみ猟銃等使用可）
【2 月 16 日～ 3 月 15 日 】・・・わな猟及び銃猟が可能





★入山する皆さんへ

オレンジ色や黄色など、目立つ色の服を着たり、熊鈴や携帯ラジオを鳴らしたりして、人がいることを狩猟者に知らせる工夫をしてください。
わなは非常に危険なので、わな設置の標識がある場所には近づかないようにしましょう。

★狩猟者の皆さんへ



必ず、周囲への目配り、気配りをお願いします。
発射方向に人家や道路があったり、人がいたりする可能性のあるときは、絶対に引き金をひいてはいけません。狩猟中の移動時であっても必ず脱包してください。
事故防止を第一として、無理をせず、余裕をもって狩猟を行いましょう。

東白川メール▶ 村 LINE ▶ 村ホームページ▶

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

広報 ひがししらかわ 11 No.188 令和8年11月13日発行

東白川村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

■編集・発行 東白川村役場総務課
〒509-1392 岐阜県加茂郡東白川村神土548
☎0574（78）3111／FAX0574（78）3099
https://www.vill.higashishirakawa.gifu.jp/